

長野県木曾青峰高等学校 平成29年度第1回学校評議員会 記録

日時 平成29年7月21日(金)午後3時30分から午後5時10分

場所 木曾青峰高等学校同窓会館

出席者 学校評議員 同窓会長・同窓会長代行・PTA会長・木曾青峰高校定時制教育振興会長
前木曾町中学校長・木曾町木曾福島地区区長会長
学校職員 校長・全日制教頭・定時制教頭・全日制教務主任・定時制教務主任
進路指導主事・生徒指導主事・1学年主任・2学年主任・3学年主任
理数科主任・森林環境科主任・インテリア科主任

1 開会

2 学校長挨拶

3 生徒による学科紹介(普通科・理数科・森林環境科・インテリア科)

4 学校からの報告

5 学校評議員からの質問・意見・要望等

(評議員) 理数科運営委員会とは何か?他の学科にもあるものなのか?

■特色学科を運営するための組織である。教科横断型の授業(課題研究など)があり、県内の理数科を有する学校でイベントを主催したりする。普通科にはない。

(評議員) 現在10周年記念事業に取り組んでいる。生徒には「私はここで育ったのだ」という実感を持たせてほしい。

(評議員) 校舎の老朽化が進んでいる。耐震などは大丈夫か?プールが使えないという状況も県は承知しているのか?

■耐震工事は終わっているが、今後校舎の修繕箇所など、700万円ほどの見積りが出され県に要望している。プールについては修繕に多額の費用がかかるため、使用の目処が立たず、今年度の水泳の授業は行われていない。状況については県に伝えてある。

(評議員) 生徒は気持ちの良い挨拶をしてくれる。初めて授業参観をさせてもらったが、生徒の要望にあるように、せめて教室に扇風機を置くなどの暑さ対策をしてもらえたら嬉しい。

■施設面のことは学校でも検討していきたい。

(評議員) 木曾郡の人口減少は大きな問題である。学校目標にあるように、「故郷の社会・文化を大切にす

る心を培い、地域社会の発展に寄与する人間を育てる」という教育を目指してほしい。
■理想とするところである。グローバル化がすすむ社会において、すべての学科において、生徒が地域社会のことを考えられる教育を目指したい。

(評議員) 不登校生徒、発達障がいの子が増えている。高校の職員も知識と理解が必要なのは。

■研修を受けたり、スクールカウンセラーなど外部との連携を密にしながら、受入れ体制の努力を続けている。

(評議員) 生徒が地域の行事に参加したり、花壇づくりをするなど良いことだと思う。また、定時制の授業を参観し、丁寧な指導方法に感心した。スクールマガジンはデザインは良いが、文字が小さくて読みにくい。

■木曾青峰高校の良さをPRしていきたい。スクールマガジンの件については、読んでいただく人のことを考え、誠実に対応したい。

5 終わりの挨拶(校長)

6 閉会